

自分もペットも 将来への備え

! シルバー世代はどうしても体調を崩しやすくなります。こんなことになってしまうかもしれません。

困った時に備えて

犬の散歩で歩くからひざが痛くてもなかなか治らない...

毎日のペットの手入れやトイレ掃除が大変になってきたわ...

お医者さんに入院が必要といわれたけど世話をどうしよう...

● 一時的な預け先を見つけておきましょう

- ・ 家族、友人、近所の人など、いつも会っている人ならペットも安心です。

● かかりつけの動物病院を作りましょう

- ・ 歩いて通える距離や通いやすい場所がいいでしょう。
- ・ 普段から検診などで信頼関係を築きましょう。
- ・ 一時的な預かりができる場合があります。

● ペットホテルやペットシッターを調べておきましょう

- ・ 事前に探して、試しに短期間で利用してみましょう。
- ・ 長期間預けたいときは、早めに相談しましょう。

● ペットを清潔にしておきましょう

- ノミやダニの予防
- ワクチン接種
- 寄生虫の駆除

- ・ 預けるときに必要です。
- ・ 自分の健康にも大きくかかわります。

● 基本的なしつけをしておきましょう

- トイレのしつけ
- ケージの中でおとなしくできる

- ・ 預けた先で迷惑にならないように、また災害でペットを連れて避難したときにも必要です。

● ペットの健康手帳を作りましょう

- ・ ワクチン接種の記録などをつけておきましょう。
- ・ 緊急のときにも役に立ちます。

健康に過ごすために

食事

動物の種類や年齢、健康状態にあった適切なフード、新鮮な水を与えましょう。

住まい

動物が快適に過ごせるよう、清潔で、安全な飼育場所を用意しましょう。

獣医療

日頃から病気の予防を心がけ、健康状態をチェックしましょう。

しつけ マナー

- ・ ふんや尿の処理は責任を持って行いましょう。
- ・ 鳴き声や吠え声、臭いなど近隣の迷惑にならないようにしましょう。
- ・ 屋外に犬を連れて行くときは、リードをつけましょう。
- ・ 身元を示す迷子札やマイクロチップを入れましょう。
- ・ 預かりや介護、災害に備えて、他人にさわられることや、室内（ペットシート等）での排泄になれさせておきましょう。

人もペットも病気の予防と早めの手当てが大切です！！

人と動物には共通の病気があり、動物からうつることも、人から動物にうつすこともあります。シルバー世代は持病を持っていたり、免疫力や体力が落ちて病気が重くなりがちなので、特に気を付ける必要があります。

ふんや尿からうつる

咬まれたり引っかかれてうつる

過度なふれあいからうつる

- ① 過度なふれあいは控えましょう。
- ② 動物にさわったら、必ず手洗い等しましょう。
- ③ ペットの身の回りは清潔にしましょう。
- ④ ふんや尿は速やかに処理しましょう。
- ⑤ 体に不調を感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。
- ⑥ ペットの健康状態に注意しましょう。



NOTE **ペットの防災対策**

災害で避難するときは、ペットも一緒に連れて行く「同行避難」が基本です。ペットの数は一緒に連れていける頭数までにしましょう。防災マップなどで、避難方法や経路を確認しておきましょう。